

今度は  
2日間!



ビッグ・アイ  
フォーラム

第2弾

ネットワークを  
広げる  
チャンス!!

# “Adventure for all” 障がい者のための 国際野外活動 フォーラム

オーストラリアの先進的な障がい者の野外活動事例。そして、日本の試み。すべての人がより豊かな人生を送ることができるよう障がい者とキャンプ実践者が一堂に会し、語り合うことで交流を深め、今後のネットワークを広げるフォーラムです。

**日時** 平成23年2月22日(火)13:00~21:00  
23日(水) 9:00~12:00

**場所** 国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)

**参加費** 無料 ※宿泊については、別途申込要  
※意見交換会参加費は1,000円(当日お支払)

**定員** 両日それぞれ100名 事前申込(先着順)

※1日だけの参加も可

宿泊料金(ルームチャージ)

	シングル	ツイン	トリプル
一般	6,000円	11,000円	16,000円
障がい者	4,800円	8,800円	12,800円

※税込

※障がい者の方は障がい者手帖をご持参ください。

※食事については、ビッグ・アイ内レストランもしくは施設周辺で各自お願いします。

**お申し込み** 往復はがき、FAX、Eメールでお申し込みください。

主催:財団法人大阪府地域福祉推進財団、国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)  
協力:(財)日本YMCA同盟、(財)ボーイスカウト日本連盟、(社)日本キャンプ協会  
日本野外教育学会、大阪府キャンプ協会、桃山学院大学、NPO法人キャンピズ

国際  
交流

宿泊も  
できます!

詳しくは裏面を! →

ビッグ・アイ 国際障害者交流センター 堺市南区茶山台1-8-1

TEL 072-290-0962

FAX 072-290-0972 E-mail proj@big-i.jp

インターネットでもご覧いただけます。 **ビッグアイ** 検索 <http://www.big-i.jp/>

南海なんば駅から準急行で約26分(乗り換えなし) 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅から200m!



2/22	13:00	<b>開会</b> <b>「障がい者を行うプログラム」</b> 障がい者の野外活動実践ワークショップ(NPO法人キャンピズ) <b>当日、以下のプログラムから1つお選びください</b> ①誰でも素晴らしい物づくり ~ハンドクラフト~ 吉原 一夫氏(手創屋樹緒夢) ②みんな一緒に楽しいひとときを! ~ゲームとキャンプファイヤー~ 西川 正人氏(NPO法人キャンピズ) ③共生社会のコミュニケーションツール ~チームビルディング~ 小柳 敬明氏(大阪市青少年活動協会) ④すべての人にスポーツを ~ニュースポーツ~ 水流 寛二氏(南海福祉専門学校) ⑤すべての人と感じる自然の息づかい~ネイチャーゲーム~ 福井 玲氏(尼崎市教育委員会)	16:00	<b>セッション1</b> <b>「障がい者、難病児のキャンプ場を作る」</b> 公益財団法人そらぶちキッズキャンプ 理事 浅野 房世氏(東京農業大学教授)
	15:30		17:00 休憩 18:30 <b>基調講演</b> <b>「障がいのある人とない人が共に 野外で楽しみ、そしてつながる」</b> ~オーストラリアの障がい者キャンプ~ デビッド・ペセリック氏(オーストラリアキャンプ協会CEO) 20:00 <b>意見交換会</b> 自由参加 ※参加費は1,000円 21:00	

2/23	9:00	<b>セッション2</b> <b>「希望・可能性・実現」をお手伝い!</b> 株式会社jecウエルプランニング 代表取締役 後藤 広充氏	11:10	<b>シェアリング</b> 講師4人のディスカッション コーディネーター 桃山学院大学教授 石田 易司氏
	10:10	<b>セッション3</b> <b>「長期のキャンプが成しえること」</b> 筑波大学 准教授 坂本 昭裕氏	12:00	閉会

## スピーカー紹介 .....

### 22日 18:30 基調講演

#### 「障がいのある人とない人が共に 野外で楽しみ、そしてつながる」 ~オーストラリアの障がい者キャンプ~

オーストラリアキャンプ協会 CEO デビッド・ペセリック氏

“Adventure for all”って素晴らしい!冒険はあらゆる人々に夢と希望をあたえ、人を強くしていきます。そして、互いに理解しあい、助け合うことを学びます。

オーストラリアでは、共生社会の実現のために、様々な取組みがなされています。そのひとつに、キャンプという方法が積極的に取り入れられています。

障がいのある人もない人も、一緒に自然の中での体験を通して、楽しみ、そして、人と人がつながり、共に生きる社会を構築しようとしている、オーストラリアでの実践についてお話いただきます。

#### デビッド・ペセリック (David Petheric)

オーストラリアキャンプ協会 CEO  
(Australian Camps Association)  
オーストラリア野外活動協議会 代表  
(Outdoor Council of Australia)

David氏は以前、ビクトリア州成年後見人事務所 (Office of the Public Advocate in Victoria) で障がい者の権利擁護および知的障がい者の教育の仕事に15年以上にわたって携わってきました。またかつては、ビクトリア・ボランティア協会 (Volunteering Victoria) の代表やオーストラリア・ボランティア協会 (Volunteering Australia) の理事も務めていました。2006年から現職。



### 22日 16:00 セッション1 「障がい者、難病児のキャンプ場を作る」

~外で遊びたい!それが夢だという子どもたちがいます~  
公益財団法人そらぶちキッズキャンプ 理事 浅野 房世氏(東京農業大学教授)

“そらぶち”とはアイヌ語で“滝下る川”という意味でキャンプ場のある北海道滝川市の由来となった言葉です。日本国内に約20万人いるといわれている小児がんや心臓病などの難病とたたかう子どもたち。「そらぶちキッズキャンプ場」は医療施設を完備し、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設けた、子どもたちの夢のキャンプを創っています。「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることができるキャンプ場、そんなキャンプ場の設立の経緯、運営、子ども達についてお話いただきます。



### 23日 9:00 セッション2 「希望・可能性・実現」をお手伝い!

~障がい者と共に築いた野外活動~  
株式会社jecウエルプランニング 代表取締役 後藤 広充氏

『ちょっとした勇気や工夫、周囲の協力があれば、障がいがあっても楽しめることはたくさんある。障がいがあっても人生は豊かにできる!』  
小さなサークル活動からスタートして、20年。障がいのあるメンバーやサポートしてくれる仲間たちとともに汗をかき、今ではアウトドアでの活動を中心に、心とからだを伸ばし、「生きる力」を育むことをテーマに、それぞれの個性に合わせたプログラムをみなさんに提供しています。

今回は、障がいのあるメンバーといっしょに培ってきた、アウトドアでの介護技術、スポーツや野外教育活動の指導方法など、jecのストロングポイントについてお話いただきます。



### 23日 10:10 セッション3 長期のキャンプが成しえること

~体験が経験になり、そして自信となる~  
筑波大学 准教授 坂本 昭裕氏

「様々な悩みを抱える...」という呼びかけに集まった子ども達と18日間の長期キャンプを過ごす中、子ども達の心の中に、ひとつの芽生えがあります。それは単に「人の成長」という言葉だけでは言いがたいものです。  
障がいのある子どもも、ない子どもも一緒に生活することで、他を認め、そして、「みんな違ってあたりまえ」と自覚し、自分を見つめることができるのです。  
今回は「みんないいところあるけど、私もいっぱいある」そんなことに気付く長期のキャンプについてお話いただきます。



## フォーラム申込書<FAX送信票>

お名前 (代表の方)	人数		代表者含む 合計	名	
TEL	FAX	参加についてご要望があればご記入ください。			
参加希望 ※丸をつけてください	2月22-23日 <b>2日間とも参加</b>	<b>22日のみ参加</b>	<b>23日のみ参加</b>	2月22日 <b>宿泊しますか?</b> はい いいえ	意見交換会に <b>参加しますか?</b> はい いいえ

申込方法 往復はがき、FAX、Eメールでお申し込みください!! ※お申込された方には確認の返信をします  
**FAX:072-290-0972** E-mail:proj@big-i.jp 宛名:ビッグ・アイ フォーラム係 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1